

社協 おうみはちまん

特集 男の居場所



近江八幡市を知ろう(市内散策)



正しいウォーキング(運動教室)



活動を知ろう(先輩と交流)

会社の仲間から、地域の仲間へ。

楽しみを分かち合える仲間との出会い。

退職、そして地域へ 最初の第一歩



男の料理(料理教室)



自分の体を知ろう(健康教室)



本格珈琲でおもてなし(市内の活動紹介)

目次

特集 男の居場所.....	1	地域福祉権利擁護事業.....	5
居場所や仲間との出会い.....	2	金田学区社協ニュース.....	6
さまざまな居場所紹介.....	3	民児協だより.....	7
楽しい時間へのかけ橋.....	3	学区(地区)社協交流会.....	8
ボランティア活動保険.....	4	共同募金・善意銀行.....	8
賛助会費にご協力.....	5		



社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会

本所 近江八幡市土田町1313
TEL: 0748-32-1781
FAX: 0748-36-6910

支所 近江八幡市安土町上出908-1
TEL: 0748-46-2571
FAX: 0748-46-5550

居場所や仲間との出会い



講座での居場所さがし

近江八幡市では、多くの講座や研修が開催されています。歴史や高齢者・子育てについてなど分野はさまざま。毎年開催されている講座の1つに、退職前後男性を対象とした「男の居場所さがし講座」があります。12年も続くこの講座では、料理づくりや認知症学習会・健康についてなど、さまざまな分野を取り入れ、退職後の生活について学び考える内容になっています。

講座に参加をすることで、居場所を見つけることができます。



平成25年度講座での居場所さがし



平成25年度も「男の居場所さがし講座」を開催し、料理からウォーキング・市内の歴史や認知症など8課程を21名の退職男性の方に受講していただきました。多くのことを学ぶことで今後の自分について考え、また、長い時間を共に過ごしてきた仲間との今後についても自然と考える。講座の終わりごろには、「受講したみんなと何かをしていきたい」という意見が出、『ポレポレ25』（ポレポレとは、タンザニアの言葉で「ゆっくり」を意味する言葉）という名前で、新たにグループが立ち上がりました。

「最初は講座に行くのが不安だった。終わって振り返ると、やること、やりたいこと、仲間ができて講座に参加してよかった」と、講座が終わり毎月の活動でも話しておられます。

相談での居場所さがし

ボランティア活動の相談窓口をご存じでしょうか？

活動したい人。活動している人。活動に来てほしい人だけではなく、ご家族からのご相談も受けております。

「いつまでも家にいてはと思い…」 「外に出る楽しみを持ってほしい」 など、ご家族が相談に来られることもあります。ご本人としても一歩を踏み出すには大きな勇気が必要な場合もあります。

ご家族のひと押しが、ご本人の地域での居場所探しにつながります。まずは気軽にご相談ください。



さまざまな居場所紹介

仲間・楽しい・健康寿命。気になったなら、それが活動への起点です。あなたを待つ活動・仲間に向けて、その第一歩を踏み出してください。

下記相談窓口では、あなたに合った充実した時間へとおつなぎいたします。気軽にお越しください。

退職男性グループ「おやじ連」一覧表

名 前	内 容
健康推進友の会	料理づくり
健康推進15会	料理づくり
おやじ友の会	料理づくり
生き生きクラブ	八幡山・野間邸環境美化活動 喫茶
サルビア会	料理づくり
いとはんの会	料理づくり
悠ゆう会	料理づくり
元気おやじ一休さん	朝鮮人街道ウォーク
近江ひまわり会	料理づくり 街並み散策
八輝会	ウォーキング
安八いちまる会	スポーツ レクリエーション ボランティア
23元気会	料理づくり
A K O 248	料理づくり
ポレポレ25	料理づくり
よし笛会	環境美化活動
水曜サロン	水彩画
近江里山を歩こう会	山歩き
八幡山の景観を良くする会	八幡山竹林整備 縦走路整備
白鳥川の景観を良くする会	白鳥川除草作業 ゴミ拾い
琵琶湖畔の景観を良くする会	琵琶湖畔周辺除草作業 ゴミ拾い
市民生ゴミリサイクルPJ	生ゴミリサイクル学習会
琵琶湖お魚探検隊	琵琶湖のお魚調査
木の実で遊ぼう会	木の実のリースづくり
いまさかPJ	いまさか整備(水郷：円山町)
中小森年輪クラブ	レクリエーション

安土町ボランティア連絡協議会グループ一覧表

名 前	内 容
絆(手話サークル)	手話
はばたき(布絵本・おもちゃ)	布絵本・手づくりおもちゃ
おしゃべり会	安土荘入所者の話し相手など
デイサービスボランティア	デイサービスあづちの利用者の話し相手
NALC 安土支部	
安土おはなし童話クラブ	園などでお話や絵本の読み聞かせ
工房よしぶえ	高齢者・身障者の福祉自助具作成・修理
男性ボランティア あずみグループ	施設や小地域サロン等で喫茶
切手ボランティア ナイスレターズ	古切手・使用済みハガキ等をジョイセフへ
ミニデイサービスボランティア	ミニデイサービス利用者の話し相手
よしきりの会	玉すだれや皿回しなどの大道芸
レクボラ じゃんけん・ポン	手遊び・工作・体操などのレクリエーション
子育てサポート ひよっこクラブ	就学前のお子さんの一時預かりとつどいの広場事業ボランティア
園芸コスモス	種子から育てた花を公共施設に設置
ハーモニー	利用者と歌を歌ったり話し相手
きづきの会	各施設の傾聴ボランティア
出前ボランティア	3B体操 舞踊 大正琴 紙芝居 コカリナ 16芸能団 ミニ健康 動物風船 よし笛 他
元気はつらつ会	リハビリの為に運動レクリエーション

上記一覧の他にも多くのボランティアグループが、趣味・特技を活かして充実した活動を市や学区などさまざまな範囲で実施してられます。

楽しい時間へのかけ橋

地域活動相談・ボランティアセンター



日時：毎月第1～4月曜日
(祝祭日も開設)
13時～15時
場所：ひまわり館2階
ボランティアセンター

男性の地域活動を応援しています！

男性の活動も幅広く、さまざまな情報からみなさまに生き生きした時間へとかけ橋いたします。相談員は、元サラリーマンで活発に地域活動されている方々。気軽にお越しください。

市内には上記の他にも多くの活動があります。また、スクールガードなど学区での活動もあります。お一人おひとりに合った活動へ一緒に考え、おつなぎします。



連絡先

近江八幡市社会福祉協議会
地域福祉課
Tel:31-2677 Fax:36-6910



ボランティア活動保険

「ボランティア活動保険」は、日本国内におけるボランティア活動中におこる様々な事故に対する備えとして、**無償で活動するボランティア**の方々を補償する保険です。

ボランティア活動先で腰を痛めてしまった



家から活動先に行く途中、転倒してけがをした



活動先の物を壊してしまった



- ★活動のための往復途上の事故も補償（自動車による事故はボランティア自身のケガのみが補償の対象となります）
- ★活動のための学習会や会議も含みます
- ★熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償

※対象外の活動：野焼き・山焼き・チェーンソーを使用する活動、専用の保険制度がある活動や日常生活と区別がつきにくい活動・社会教育を目的とする活動・PTAや自治会、老人会など

※途中加入の場合は、加入手続き完了日の翌日～平成27年3月31日(火)

補償期間

平成26年4月1日(火)～平成27年3月31日(火)

加入プラン

基本プラン		天災プラン	
Aプラン	Bプラン	Aプラン	Bプラン
300円	450円	460円	690円

被災地（地震・噴火・津波に起因する被害を受けた場所）にてボランティア活動される方は、天災プランの加入が必要です。

ご存じですか？
もう1つのボランティア保険

ボランティア行事用保険

「ボランティア行事用保険」は、社会福祉協議会およびその構成員・会員ならびに、社会福祉協議会が運営するボランティア・市民活動センターなどに登録されているボランティア・ボランティアグループ・団体が、地域福祉活動・ボランティア活動の一環として行う各種行事に対する保険です。



加入プラン

Aプラン 1日1人 28円

※最低加入人数20名 および 最低加入保険料560円

安心して活動するためにも、保険の加入をおすすめします

【受付窓口】 近江八幡市社会福祉協議会

本 所（総合福祉センターひまわり館1階）
☎ 0748 (31) 2677

安土支所（安土町総合支所敷地内）
☎ 0748 (46) 2571

賛助会費にご協力ありがとうございました

近江八幡市社会福祉協議会賛助会費にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近江八幡市社協では、みなさまから納めていただきました大切な会費を財源とし、地域相談や福祉啓発などの地域福祉事業を展開して参ります。今後とも、社協の進める「安心して暮らせるふくのまちづくり」に、ご理解ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

ご協力いただきました皆さまのご芳名を、次のとおり掲載させていただきます。(順不同・敬称略)

そば善	3,000円
(有)経営コンパス	3,000円
八幡学区社会福祉協議会	30,000円
安土地区社会福祉協議会	10,000円

2月26日現在 総額 625,000円



あんしんのせいかつをおてつだいます

ちいきふくしけんりょうごじぎょう 地域福祉権利擁護事業

住み慣れた地域で安心して生活が送れるように、福祉サービスの利用手続きの代行・日常生活の金銭管理などを一緒に行うなどのお手伝いをします。



Q どのような人が利用できるのか？

自分ひとりで福祉サービスの利用手続きなどをすることが不安な方や、お金を管理することが大変になってきている方などが利用できます。

認知症状がある方、知的障がいのある方、精神障がいのある方などが対象となります。

Q どのようなサービスがあるのか？

福祉サービスの利用援助

福祉サービスを利用するために必要な手続きや利用料金を支払う手続きなどを行います。

日常的な金銭管理サービス

預貯金の出し入れ、公共料金や家賃などの支払い、年金や福祉手当の受領に必要な手続きなどを行います。

書類等預かりサービス

預貯金通帳や証書などをお預かりし、大切に保管しておきます。



まずは社会福祉協議会へ
ご相談ください

〒523-0082

近江八幡市土田町1313番地

近江八幡市総合福祉センターひまわり館内

近江八幡市社会福祉協議会 地域福祉課

Tel:31-2677 Fax:36-6910

ご存知ですか？あなたの町の社協活動

学区地区社協ニュース



金田学区社会福祉協議会

所在地：近江八幡市金剛寺町375

Tel：37-7255

Fax：37-7257



金田学区スローガン

「手をつなぎ 創ろういいまち いい金田」

今年度から金田学区平和祈念式として始まる

10月19日金田コミュニティセンター多目的ホールにて、金田学区社協・まち協・自治連合会による、第一回金田学区平和祈念式を開催しました。

当日は、副市長をはじめ来賓など100名の参加がありました。



ひとり暮らし高齢者との交流会で和気あいあい

11月14日金田学区社協・ボランティアグループちまちだ会共催による「ひとり暮らしの老人との交流会」を開催しました。



47名の方々に参加いただき、楽しい催し物と手作りのお弁当で大変喜んでいただきました。

挨拶運動と見守りを続けて10年“ありがとう”



金田学区では毎日「子どもの安全とあいさつ運動」を続け10年が経ちました。毎年金田小学校から「毎日お世話になっている方々にお礼をしたい」とのことで招待されています。

毎日「おはよう」「おかえり」「ただいま」と挨拶することにより「毎日挨拶することが楽しくなりました」とのお礼の言葉をいただきました。児童の代表からは見守り隊の代表者ひとり一人に感謝の花束が贈呈されました。

自宅介護家族交流会で一時的安らぎ

日ごろ自宅にて家族の介護をされておられる方に集まっていただき、悩みや苦労話などお互いに話し合いを行いました。ケアマネジャーや福祉相談委員の方にアドバイスをいただき、心の安まるひと時でした。





民見協だより

近江八幡市
民生委員児童委員協議会

こんにちは、民生委員です！（安土学区）

昨年12月の改選に伴い、私たち安土学区民生委員児童委員協議会は、2名増員され総勢24名（主任児童委員2名を含む）で再出発をすることになりました。半数近くの11名が新任委員であり、外部研修はもちろん事例検討（定例会時の1時間程度）等内部研修に励み、身近な相談者として信頼される民生委員を目指して、地域に根差した活動に邁進しています。その特徴的なものを一部紹介します。

幼児家庭訪問

当学区では、虐待の未然防止と早期発見の観点から、年1回ですがかわい折り紙とちょっとしたおみやげを持って、各委員が3歳未満の幼児がいる家庭を一齐訪問しています。

たとえ玄関とはいえ、その家庭の雰囲気分かるとともに、その親子との顔見知りになることは、今後の私たちの活動に役立つものと考えています。



災害時要援護者台帳の整備

安土学区民見協では、5～6年前に民見協独自で災害時要援護者台帳とマップを整備し、毎年1回は必ず見直しを継続するとともに、9月の防災訓練時には、福祉協力員とともに安否確認訓練をしています。近隣住民のご協力が必要なこともあり、実際の災害時にどう対応していくかは、今後の検討課題です。

市社協との連携

市社協が実施されている障がい児の休日における余暇活動の確保と、社会性や自主性の高揚を目的とした障がい児休日支援事業（夏休みを除く1回/月）とサマーホリデー事業（お盆および土・日を除く夏休み中）の支援を、全委員の当番制で実施しています。

支援というよりも、民生委員自身が障がい児を理解し、その接し方を勉強する良い機会を与えていただいています。



交流会報告

学区(地区)社会福祉協議会交流会を開催しました



2月24日(月)学区(地区)社協交流会を開催しました。(学区社協役員等40名が参加)

南つつじヶ丘地区社会福祉協議会(京都府亀岡市)会長山本眞之介さんより「地区社協設立2年を振り返って」と題してお話いただいた後、今後地域で取り組んでいきたいことなどを話し合い、最後に、大谷大学山下憲昭教授より、「学区(地区)社協は、①暮らしの課題共有の場であり、②住民参加の福祉活動の交流の場であり、③住民活動の担い手を支える場であり、ミッション(使命)、パッション(情熱)、アクション(行動)を大切にしたい」とお話くださいました。今後も、学区(地区)社協とともに、福祉のまちづくりを進めていきたいと考えています。

今後も、学区(地区)社協とともに、福祉のまちづくりを進めていきたいと考えています。

地域で取り組んでいきたいこと(話し合い内容の一部)

- ・ 地域のつながりづくり
組織的な見守り活動を地域に広げたい
- ・ 人づくりについて
福祉団体等に若い人が参加するしくみ
若者が地域に関わるまちにしたい
- ・ 居場所づくり
ふれあいサロン活動の交流会を開催したい
いつも同じ人なのでいろいろな人に参加してほしい
- ・ 災害に強い地域づくり
災害時に要支援者を優先して救助するシステム



日々の地域福祉推進の様子は、「近江八幡市社協ブログ」をご覧ください。→



共同募金にご協力ありがとうございました

赤い羽根共同募金 : 6,993,929円

歳末たすけあい募金 : 4,679,464円

今年度もみなさまからたくさんのおたかなお気持ちをいただき、誠にありがとうございました。お寄せいただいた募金は、全国・県・市内のさまざまな支援に活用させていただきます。

善意

ありがとうございました

(平成26年1~2月分)



地域福祉等のため、次のとおりご寄付をいただきました。助け合いや地域福祉活動等の支援に大切に活用させていただきます。皆さまのご厚意に厚くお礼申し上げます。(敬称略・順不同)

寄付金

匿名.....	5,000円	長谷川博通 様	5,000円
おうみ福祉協会.....	12,000円	長谷川則子 様	2,000円
匿名.....	10,000円		

